



令和3年6月21日

担当課	観光課
担当者	稲垣・松林・島本
電話	(073) 435-1234
内線	3073

～MIGO レジ袋有料化1周年記念イベント～ 「神秘の島で、未来の海を考える1日。」の開催について

6月26日に一般社団法人加太・友ヶ島環境戦略研究会（KATIES）の主催により、友ヶ島に流れ着いた海岸漂着物を利用して参加者全員でアート作品を制作し、観光地である島のキレイな海を守りたいというメッセージを発信する参加体験型観光イベントが開催されます。

- 1 開催日時 令和3年6月26日（土）9：00～16：40
※定期船が欠航の場合は27日（日）に延期。

- 2 開催場所 和歌山市加太 友ヶ島（沖ノ島）

- 3 定員 50名 ※コロナ禍のため、今回は招待客のみとなります。

- 4 主催 一般社団法人 加太・友ヶ島環境戦略研究会（KATIES）

協賛 花王株式会社
象印マホービン株式会社

協力 和歌山市
加太観光協会



協賛内容：
当日回収した漂着物の
リサイクル協力

協賛内容：
マイボトル持参の参加
者に向けた飲料提供

- 5 イベント内容
- ・エコツアーの要素を含んだ参加体験型観光イベント
 - ・「友ヶ島」及び「海岸漂着ごみの現状」の紹介・説明
 - ・「のせでんアートライン」や「ならアートナイト」などのアートプロデュースを歴任した専門家アドバイスのもと、参加者が実際に拾った漂着物で即興の作品を全員で制作
 - ・イベントの様子を撮影した短編ドキュメンタリー作品を制作（後日、YouTubeなどの媒体で公開し、拡散・啓発を行う。）

MIGO (Material In Garbage from the Ocean)

海岸漂着ごみ問題の根本的な改善のためには、KATIES（一般社団法人加太・友ヶ島環境戦略研究会）が行っている学術調査とは別に、人々のライフスタイルの変化や意識改革を促すことが必要であり、多くの市民や企業と協働し、エンターテインメントやアートの要素を含んだ活動を行うプロジェクト。

紀淡海峡に浮かぶ無人島・友ヶ島。
修験道の山伏修行が行われる秘境であるこの島には、
毎日無数の漂着物が流れ着きます。
なぜ、この島に流れ着くのか。
流れ着いた漂着物の正体は何なのか。
この島には、あなたの想像を絶する物語があります。
神秘の島で、未来の海を考える1日を過ごしてみませんか。

MIGO EVENT#1

- 【日時】2021年6月26日（土）
【場所】和歌山市 加太・友ヶ島（沖ノ島）
【定員】50人
【主催】一般社団法人 加太・友ヶ島環境戦略研究会(KATIES)
【協賛】花王株式会社、象印マホービン株式会社
【協力】和歌山市、加太観光協会
【お問い合わせ】info_katies@tomogashima.or.jp

* コロナ禍のため、今回は招待制となっており、一般参加は受け付けておりません。

詳しくはコチラ

MIGO

<https://migoocean.com>



9:00~	受付
10:00~	出航
10:20~	友ヶ島到着 イベント会場へ移動
11:00~	イベント説明、イベント開始
12:00~	昼食タイム (* ご持参お願いいたします)
13:00~	作業再開
15:10~	作品品評会
16:20~	帰航

アドバイザー



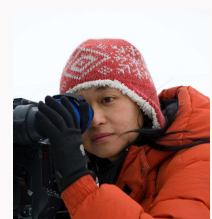
千葉知世
大阪府立大学准教授



友井隆之
アーティスト



平井研
和歌山県環境学習
アドバイザー



海南友子
ドキュメンタリー
映画監督